

ぐんま の 農業研究と普及活動

第 36 号

平成 30 年 2 月

発行 群馬県農政部

(前橋市大手町一丁目 1 番 1 号)

世界初！養蚕農家で緑色蛍光シルク繭を生産しました



5 齢の GM カイコ



農家飼育の様子



簇（まぶし：繭を作らせるための道具）の中で GM カイコが繭を作っている様子（青色 LED 照射下で黄色フィルターを通して撮影）



出荷前の繭

蚕糸技術センターでは、養蚕農家で遺伝子組換えカイコ（GM カイコ）を飼育できるようにするため、平成 27 年から農研機構と共同研究を続けてきました。そして、平成 29 年 9 月、養蚕農家での緑色蛍光シルク繭生産におけるカルタヘナ法第一種使用規程の大臣承認を得て、同年 10 月、世界で初めて GM カイコの農家飼育を実現させました。今後も GM カイコの普及拡大を図り、さらなる蚕糸絹業の復興を目指します。

目 次

- トピック [新技術等の迅速な現地普及]
 - ・ぐんま農業フロントランナー養成塾卒業生へのフォローアップ…………… 1
- 研究成果等の情報
 - [県の試験研究機関で開発した最新の技術情報]
 - ・小麦「さとのそら」の精麦を利用した簡易な押し麦製造方法…………… 3
 - ・邑楽館林地域におけるリン酸過剰の施設キュウリほ場では基肥リン酸を無施肥にできる………… 4
 - ・タラノキ新品種「ぐんま春王 NT」の現地適応性 …… 5
 - ・世界初！養蚕農家における緑色蛍光シルク繭の生産…………… 6
 - ・県産ワカサギ卵の安定供給に向けて…………… 7

- ・オオムギソフトグレインサイレージの省力調製技術… 8
- ・農産物残渣サイレージの黒毛和種子牛への給与技術…………… 9
- 普及活動の実績
 - [各地域における課題解決の取り組み]
 - ・複合環境制御技術導入によるバラ産地の支援………… 10
 - ・新規就農者の定着に向けた支援…………… 11
 - ・イチゴのハダニ類防除に天敵新資材を導入…………… 12
 - ・農用地利用調整組合の活動支援…………… 13
 - ・キュウリ栽培における天敵利用…………… 14
- インフォメーション
 - ・農業適正使用のポイント…………… 15